



ひまわり通信

日本共産党控室
市川市八幡1-1-1
334-1111 (18219)

日本共産党
市川市議員 **ひろた徳子**



2020.12.13 N065

12月議会代表質問をしました

この間、コロナ禍で行った市独自の支援策を検証し、今後必要となる支援を要望しましたが、「国や県の動向を注視」との答弁。これで市民の生活と健康を守れるのでしょうか。

○妙典に地域コミュニティゾーンを整備。障がいのある子どもも一緒に遊べる遊具を設置する考えはあるか

答弁 誰もが楽しめる施設にすることは、大変重要だと認識している。このような遊具を接出するよう検討する。

○生ごみのみを回収するスマートBOXの検証状況と市民への周知はどのようになるのか。

答弁 試作機に不具合があり、改良中。改良後、SNSや市公式Webサイトなどを通じて周知を行う。時期は未定。

答弁 に対し、新事業もいろいろ、ごみの分別・減量を推進するべきと主張しました。

○令和3年度の予算編成で主な新企業を問う。

答弁 コロナ禍で市川市における行政のデジタル化やオンライン化の遅れが明らかになったので、デジタルトランスフォーメーションの取り組みを加速させるための事業や市民生活が今以上に便利と

なり豊かになるような事業が重点課題。

○キャッシュレス決済普及促進事業は、落ち込んだ市内経済を下支えできたのか問う。

答弁 予算額20億円に対し、10月末現在4億5千万円を執行、執行率は23%。年末に向けて周知していく。12月末までの事業。

答弁 に対し、スーパーや大型店舗、コンビニなどでは利用が多く、個人商店では売上が伸びず引き続き厳しい状況。また、スマホを持たない人は利用出来ないため、予算に対する執行率が非常に低いと指摘しました。

○新庁舎について、庁舎北側及び正面入り口の植栽の手入れについて

答弁 手入れ費用は月約100万円。自動散水で経費節減、人工土壌で庁舎への重力的負担軽減、強風時の安全対策を施している。答弁 に対し、既に枯れている植栽もあり、見た目にも十分配慮してほしいと要望しました。

答弁に立たない村越市長

「構想」とは、何だったのか？

行徳高校定時制を存続させる会は、昨年11月、市長と短時間ですが懇談し、

「不登校や様々な問題を抱えている子どもたちにとって行徳高校定時制がかけがえのない学びの場です。なくなってしまうからこれからの市川市の子どもたちはどうすればいいのか」と代表が訴えたところ、市長は「皆さんの想いは共有した、多様な学びを保障する取り組みを重視している。自分なりの構想を持っているが、詳しく話すことは出来ない」と発言。

この「構想」とはどんなものなのか、村越市長に答弁を求めたが、学校教育部長が答弁。もう一度、「存続させる会も大変期待している。話を聞かせてほしい」と求めたが、結局答弁には立ちませんでした。

その他の質問項目

- 地域コミュニティの活性化
- 本市において無資格で臨床心理士として働いていた元職員の事例への対応について
- スーパーシティについて
- 中核市への移行について
- 津波・高潮避難ビルについて
- 教育行政について
 - ・義務教育学校について
 - ・放課後子ども教室の拡充について
 - ・こども館について

12月議会に向けた 市政懇談会



11月19日に行われた市政懇談会では、清水団長が議案の説明を行い、私が代表質問の説明を行いました。参加者から、様々な意見や質問がありました。毎議会ごとに、市政懇談会を行っています。どうぞご参加ください。



市川市議団は、11月20日、2021年度の予算要望を大津副市長に提出しました。通年の要望に加え、PCR検査の早期拡充をはじめ、コロナ禍の生活困窮者や中小業者への支援継続を求めました。(写真上)

来年度の予算要望を提出



公園内の
本屋さん
に
絵本が
いっぱい!!



としまキッズパーク

11月18日、豊島区のサンシャインシティの裏手に全面オープンしたばかりの「豊島緑の防災公園」を訪ねました。その一角にある「としまキッズパーク」は、障がいのある子もいない子も遊べて、大人と一緒に乗れるブランコや滑り台、車椅子のままでも砂遊びができる、インクルーシブ公園です。妙典の地域コミュニティゾーンは、児童発達支援センターの計画もあり、参考のために見てきました。また、豊島区は日本一の高密度な都市で、園庭のない保育園や幼稚園が8割以上。区のバスが遊び場となる公園と園の間の送迎をしていました。市川市も園庭のない保育園が多く、一つの公園に何園もの園児たちが外遊びにきていることがあるので、地域コミュニティゾーンで解消出来たらいいと思いました。



ひとりごと：11月17日、千葉県保育問題協議会が行っている「子育てキャラバン」に参加しました。以前は県内80市町村もありましたが、市町村合併により現在は54市町村。14コースに分かれて訪問しました。私は、南房総市、館山市、鋸南町、富津市を回り、担当課と懇談をしました。地元の方や町議も参加してくれました。富津市では、保育士の配置基準を上げてほしいと要望がありました。

12月議会で補正予算が通れば、1月中旬から唾液によるPCR検査を65歳以上のすべての希望者が無料で受けることができます。詳細は市の広報や次号のひまわり通信でもお知らせいたします。

来年はいい年になりますように。